

水道用水供給事業

中期経営計画（経営戦略）の達成状況

（平成30年度）

三条地域水道用水供給企業団

1 事業・取組実施計画に関する状況（基本方針別）

（１）安全な水道水の供給

「水安全計画の策定」については、平成30年度の計画事業はありません。

「水質管理、施設の安全管理」については、水質異常は発生せず計画目標を達成しました。次年度は水安全計画を策定し、今後も水質異常が発生しないよう徹底した管理に努めます。

区分	平成30年度		
	計画	実績	計画値との差
水安全計画策定等	—	—	—
水質異常発生回数（回）	0	0	0

（２）防災対策の推進

「水害対策」については、薬品注入設備を更新し水害時等の原水の高濁度化への対応を図りました。

「水道施設の耐震化」については、平成30年度の計画事業はありません。

「災害時対応、復旧体制の確保」については、災害時を想定し連絡対応訓練を実施し目標を達成しました。

区分	平成30年度		
	計画	実績	計画値との差
薬品注入設備更新	(H29～)設備更新	実施	実施
水管橋耐震化工事	—	—	—
防災訓練実施回数（回）	3	3	0

（３）健全な経営の持続

「創設事業の完了」に向けて平成30年度は浄水処理施設の土工事等を実施しました。

「計画的な施設、設備更新」については、前述のように計画どおり薬品注入設備を更新しました。

「経営の効率化」については、職員数、外部研修参加人数、経常収支比率のいずれも計画目標を達成しました。

今後も必要な設備投資を行いながらも経費の節減に努め、また職員の施設管理技術の維持向上を図り、健全な経営を維持していきます。

区分	平成30年度		
	計画	実績	計画値との差
創設残事業費	計画期間中、各年度工事等実施(R9完成)	実施	実施
施設・設備更新事業	(H29～)薬品注入設備	実施	実施
職員数（人）	14	14	0
外部研修参加人数（人）	2	3	1
経常収支比率（％）	127.14	129.75	2.61

2 投資・財政計画に関する状況

(単位：千円)

(1) 投資計画

建設事業（創設残事業）は前述のように計画した工事を実施しました。更新事業については、計画どおり薬品注入設備を更新しましたが、県事業費負担金の変更により計画値と差異があります。

区分	平成30年度		
	計画	実績	計画値との差
建設事業費（創設残事業費）	130,000	115,377	▲ 14,623
更新事業費	109,942	90,341	▲ 19,601

(2) 財政計画（収支計画）

ア 収益的収支計画

収益は、責任水量制の料金を中心としていることから計画どおりの収入を確保しました。

費用は、経常的管理経費の抑制により計画値を下回りました。

その結果、平成30年度の損益は、計画に対し18,500千円ほどの増額となりました。

(単位：千円)

区分	平成30年度		
	計画	実績	計画値との差
水道事業収益（A）	1,247,335	1,247,843	508
1 料金収入	1,067,710	1,067,710	0
2 売電収入	13,880	14,200	320
3 長期前受金戻入	131,801	131,784	▲ 17
4 繰入金、雑収益等	33,944	34,149	205
水道事業費用（B）	980,436	967,531	▲ 12,905
1 経常的管理経費	264,342	253,165	▲ 11,177
2 減価償却費等	499,932	498,680	▲ 1,252
3 支払利息	163,498	155,379	▲ 8,119
4 雑支出等	52,664	60,307	7,643
5 特別損失	0	0	0
収支差引（A）－（B）	266,899	280,312	13,413
損益（収支差引消費税等抜額）	249,125	267,712	18,587

イ 給水原価、供給単価

給水原価、供給単価、料金回収率とも計画値を達成しています。（給水原価については計画値を下回る方が経営的に良い指標値となります。）

区分	平成30年度		
	計画	実績	計画値との差
給水原価（円）	72.77	70.27	▲ 2.50
供給単価（円）	91.51	91.70	0.19
料金回収率（%）	125.75	130.50	4.75

ウ 資本的収支計画

支出は、県事業費負担金の変更に伴う、施設・設備更新費等の減などにより計画値より減となりました。

収入は、支出の減に伴う起債の減などにより、計画値より減になったものです。

これにより、収支差引不足額も縮小しました。

また、平成30年度における累積留保資金残高は、計画を8,830千円上回り、228,923千円となりました。

（単位：千円）

区分	平成30年度		
	計画	実績	計画値との差
資本的収入（A）	1,012,434	967,534	▲ 44,900
1 企業債	886,800	851,100	▲ 35,700
2 国庫補助金	43,000	38,400	▲ 4,600
3 建設時出資金、繰出金	82,634	78,034	▲ 4,600
資本的支出（B）	1,592,113	1,552,690	▲ 39,423
1 創設残事業費	130,000	115,377	▲ 14,623
2 施設・設備更新費等	109,942	90,341	▲ 19,601
3 企業債利息	163,065	156,666	▲ 6,399
4 企業債償還金	1,189,106	1,190,306	1,200
災害復旧債償還金（C）	5,235	5,235	0
収支差引（A）－〔（B）－（C）〕	▲ 574,444	▲ 579,921	▲ 5,477
累積留保資金残高	220,093	228,923	8,830

(単位：千円)

エ 企業債残高

企業債の平成30年度末残高は、新発債の減により計画値より少額にとどまりました。

区分	平成30年度		
	計画	実績	計画値との差
企業債残高	17,263,778	17,226,879	▲ 36,899

3 平成30年度の計画達成状況の総括

事業・取組実施計画に掲げた事業、目標値及び投資・財政計画に掲げた計画値については、ほぼ計画どおりに実施、達成することができました。

今後も本計画の着実な実行により、経営基盤の強化を図っていきます。